

第 24 回 日 本 人 口 学 会 大 会

標記の大会は、昭和47年6月28日(水)、29日(木)の両日にわたり、札幌市に在る北海道厚生年金会館3階の会議場(清流の間および大雪の間)において開催された(開催機関は北海道立総合経済研究所)。日本人口学会の年次大会が北海道において開かれたのは、一昨年(第22回大会(函館大学))に次いで2回めに当たり、今回もまた、北海道立総合経済研究所長谷部亮一所長を委員長とする大会準備委員会の多大の努力によって、盛大な大会日程を終了した。会員参加者は71名、本研究所からも上田正夫所長をはじめ、黒田俊夫、林茂、篠崎信男、青木尚雄、濱英彦、岡崎陽一、山本道子、伊藤達也および山口喜一の10技官が出席した。

大会プログラムは下掲のごとくであるが、本年は学会役員の改選期に当たり、大会会期中に行なわれた選挙によって新役員(理事・監事)が選出され、新理事の互選により南亮三郎理事が新会長に再選された。

総会において選出された新役員(任期2年)を示すと次のとおりである。(得票順)

会 長	南 亮三郎(駒沢大学教授)
常務理事	寺 尾 琢 磨(慶応義塾大学名誉教授)
	上 田 正 夫(人口問題研究所長)
	黒 田 俊 夫(人口問題研究所人口政策部長)
	森 田 優 三(福岡大学教授)
	安 倍 弘 毅(久留米大学名誉教授)
理 事	篠 崎 信 男(人口問題研究所人口資質部長)
	曾 田 長 宗(国立公衆衛生院長)
	畑 井 義 隆(明治学院大学教授)
	小 山 栄 三(立教大学名誉教授)
	水 島 治 夫(九州大学名誉教授)
	岡 崎 文 規(竜谷大学教授)
監 事	小 林 和 正(人口問題研究所資料課長)
	三 原 信 一(毎日新聞社人口問題調査会常任理事)

なお、南新会長より次のとおり新幹事が指名委嘱された。(ABC順)

伊 藤 達 也(人口問題研究所人口移動部移動科員)
森 岡 仁(駒沢大学専任講師)
西 森 司(人口問題研究所庶務課長)
大 淵 寛(中央大学教授)
鈴 木 啓 祐(流通経済大学教授)
田 島 欣 也(人口問題研究所庶務課庶務係長)
山 口 喜 一(人口問題研究所主任研究官)
吉 田 忠 雄(明治大学教授)

研究発表会において行なわれた報告の題名および報告者を掲げると次のごとくである。

第1日(6月28日)

○一般研究発表

- 1 ミルダールの人口論.....室 三 郎(人 口 問 題 研)
- 2 スウェーデンの人口政策.....森 岡 仁(駒 沢 大)
- 3 適度人口の概念.....高 木 尚 文(成 城 大)
- 4 わが国労働供給行動の一分分析.....水 野 朝 夫(中 央 大)

- 5 道路の人口分布に及ぼす影響について……………鈴木 啓 祐(流通経大)
- 6 2つの国調人口にもとづく人口推移確率の推定……………仮谷 太 一(川崎医大)
- 7 明治・大正年間の人口推計と人口動態(統)……………広岡 桂二郎(日医会)
- 安川 正 彬(慶応大)
- 8 人口総数の変動と安定人口 第2報……………江崎 廣 次(久留米大)
- 安倍 弘 毅(久留米大)
- 矢野 邦 夫(久留米大)
- 田中 雅 生(九州大)
- 9 高齢人口の増加と偏在……………山口 喜 一(人口問題研)
- 館 稔(人口問題研)
- 10 出生力転換……………黒田 俊 夫(人口問題研)
- 11 出生率水準の経済的, 社会的背景—国際比較の一試算……………岡崎 陽 一(人口問題研)
- 12 第5次出産力調査における生涯出生児数について……………青木 尚 雄(人口問題研)
- 13 農家の差別出生率の動向と問題について……………林 茂(人口問題研)
- 14 消費行動と若干の出生率および死亡率との関係……………伊藤 秋 子(お茶水大)
- 杉原 由 機(立正大)
- 15 「死因」から見た日本人の世代生命表……………飯淵 康 雄(関西医大)
- 16 わが国民の健康状態に関する生態学的研究……………山本 幹 夫(順天大)
- 寺尾 浩 明(順天大)
- 塩原 秀 子(順天大)
- 林 知己夫(統計数研)
- 17 人口資質とエコシステム……………篠崎 信 男(人口問題研)

第2日(6月29日)

○北海道関係研究発表

- 1 北海道をめぐる人口流入出の特性について……………濱 英 彦(人口問題研)
- 2 北海道における人口流動の特徴……………渡 辺 貞 雄(道総研)
- 3 北海道の増加都市人口と減退都市人口について……………石 南 国(函館大)
- 4 渡島地方の人口の史的盛衰と移動状況……………石 原 正 令(函館大)
- 5 北海道アイヌのファミリーサイズについて……………祐川 勝 巳(駒沢大)
- 速水 昇(駅沢大)

○シンポジウム

産業革命後の日本経済と人口動態

- 歴史人口研究の第3年度として——……………座長…矢 島 武(北海道大)
- (1) 明治末期から昭和初期にかけての日本経済の発展と動揺……………長岡 新 吉(北海道大)
- コメント 和 泉 雄 三(函館大)
- (2) 産業革命後における日本の人口動態……………皆川 勇 一(千葉大)
- コメント 安川 正 彬(慶応大)
- (3) 人口転換理論と日本の経験……………大淵 寛(中央大)
- コメント 畑 井 義 隆(明治学院大)

なお、永年日本人口学会のために尽瘁された館 稔常務理事は、本年3月21日急逝されたが、同学会は、とくに同常務理事の追悼講演(寺尾琢磨常務理事による)を行ない、参会者全員1分間の黙禱を捧げてそのご冥福を祈った。(山口喜一記)